

「ダイバーシティ&インクルージョン推進講演会」を開催しました



interview

### 講演会に参加してみた

谷さんの講演を聞いて、諦めないこと、困難に立ち向かうことの大切さを感じました。私もスポーツをやる身として、そういったメンタリティを持ちたいと思いました。スポーツをテーマにした講演は、多くの方の心に響くと思います。



30代男性

今後スポーツを通じたダイバーシティ等の講演会に参加したいです。

2月10日、古河市は茨城県ダイバーシティ推進センターと連携し、東京2020招致のプレゼンターとしてスピーチを行ったパラトライアスロン選手の谷真海さん<sup>たままみ</sup>をお迎えして講演会を開催し、市内外から205名の方々が野本電設工業コスモスプラザに集まりました。

パラリンピック出場等のエピソードから、ダイバーシティ社会の実現に向けて学び得たことを中心にお話をいただき、義足を得たことでスポーツに再チャレンジでき、生きる希望、新たな目標が生まれたこと、パラスポーツは工夫次第で何でもトライでき、一人ひとりに可能性があること、また、海外遠征等を通して多様な文化や価値観に触れてきたこと、スポーツのおかげで障害という壁が無くなり、世界には色々な人がいて混じり合っているというお話は、ダイバーシティ社会の実現に向けて大きなヒントを与えてくださいました。

## 人権教育講演会を開催しました



▲研究発表を行う染谷結菜さん(左)、高橋果希さん(右)

8月2日、人権尊重のまちづくりの一環として、「人権教育講演会」を開催し、市内外から191人が参加しました。

第1部では、性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する理解の増進の取り組みとしての市の出前講座を受講した、古河中等教育学校の5年次生(高校2年生)の染谷結菜さん、高橋果希さんから、「日本で同性婚が認められるには」をテーマとした研究発表がありました。

多くの先進国では同性婚が認められている一方で、なぜ日本では同性婚が認められないのか、これまでの社会情勢の変化や同性婚が認められることによる社会への影響、同性婚についてのアンケート結果、専門家へのインタビュー結果等の発表を行いました。

第2部では、一般社団法人JCMA 代表理事の吉井奈々さんを講師に迎え、「LGBTQ 自分の「好き」を大切に生きる生き方」をテーマとして、ご自身の経験をもとに、自分を大切にする考え方や相手も自分も大切にコミュニケーション方法について学びました。

参加者にとって、人権の大切さや多様性について考えるきっかけとなる講演会となりました。



▲講演を行う吉井奈々さん

## 男女共同参画古河市民ネットワーク(ゆめこらぼ)登録者募集



すべての男女が互いに尊重しあい、共に手をたずさえ、一人ひとりが自分らしく輝き心豊かに生活できる社会を実現するために、イベント等での啓発活動などを古河市や古河市男女共同参画推進会議と協働して行っています。

現在、市内で活動する24団体個人11人が参加しています。

ぜひ、あなたも「ゆめこらぼ」で、一緒に活動してみませんか？

詳細はこちら

